

06/2017

ジャーナルジャッキ	頁
型式(133kN) ●A1510C	2 ~ 5
型式(222kN ~ 311kN) ●2510C ●A2510C ●A2515C ●3510D ●A3510D	6 ~ 9
型式(445kN) ●5010B ●A5010B	10 ~ 13



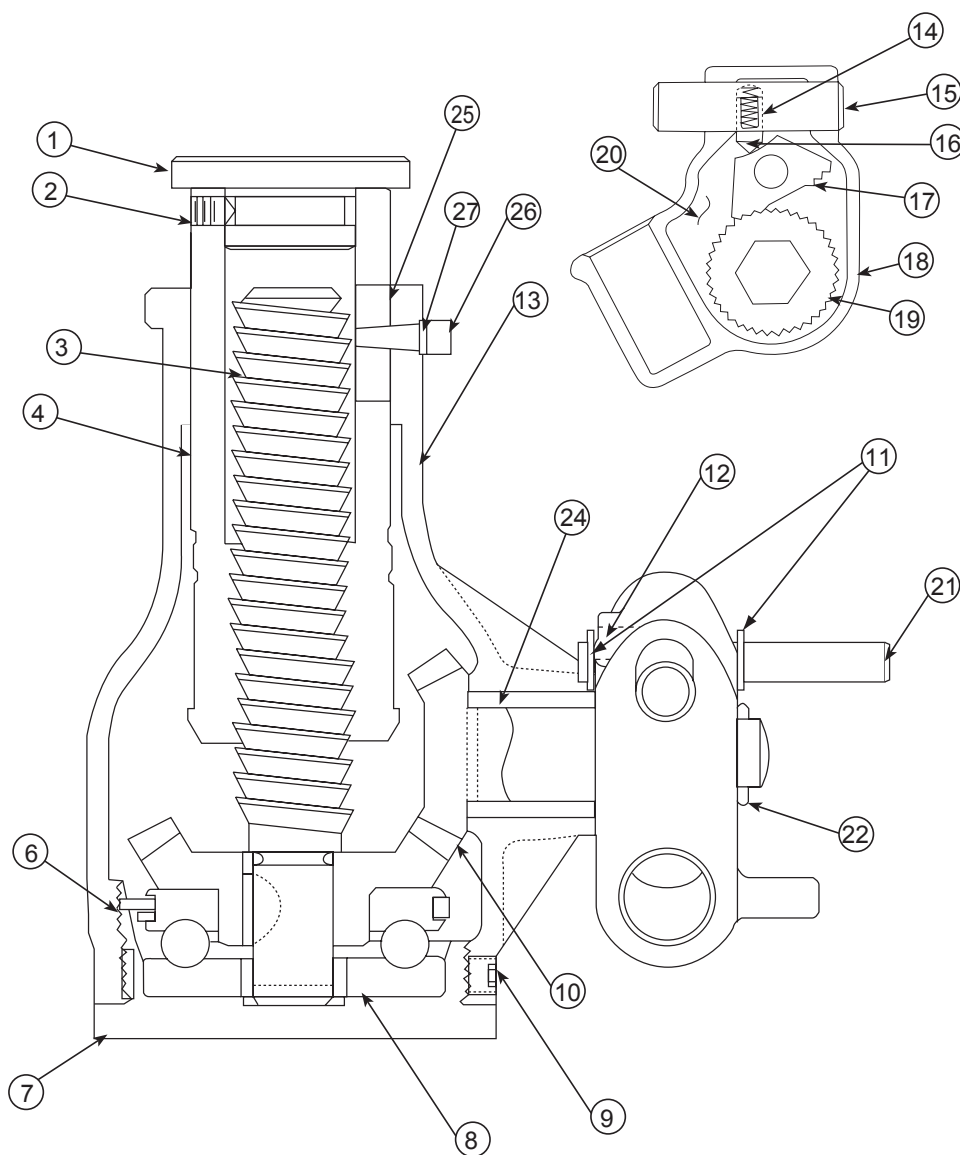
注意

- この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意に関して記載してあります。
- この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、すぐに利用できる場所に大切に保管してください。

06/2017

ジャーナルジャッキ

型式 A1510C (133kN)



注意

- この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意に関して記載してあります。
- この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、すぐに利用できる場所に大切に保管してください。

重要伝達事項

ご使用の安全のために

1. 本製品は、当社の取扱説明書をよく読み、製品を十分に理解して、危険性を熟知したオペレーターにより運転・操作・保全を行ってください。
2. 本製品を納入稼働後、貴社にて改造・変更を行って、不具合・事故が発生した場合は、弊社のPL補償の対象となりませんのでご了承ください。
3. 本書に記載されている安全注意事項は、身体や機械の損傷レベルにより、次の3レベルに分けて記載してあります。危険度の高い安全注意事項に特に気をつけて作業を行ってください。



危険

当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの。



警告

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に重大な損傷を招く恐れがあるもの。



注意

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に損傷を招く恐れがあるもの。

ジャーナルジャッキの取扱説明とメンテナンス方法

注意 ジャッキを使用する前に、ジャッキの操作手順を読んで、良く理解して下さい。そして全ての安全操作手順と、安全注意事項もまた読んで理解して下さい。更に、一般的な安全原則と、装置の所有者やその他管理者による事故防止方法に従って下さい。

参考文献

1. 産業労働者のジャッキ操作のためのOSHA災害予防マニュアル
2. OSHAジャッキの一般業界標準
3. ANSI B30.1 ジャッキのための安全操作説明書

ジャッキ操作説明書

ジャッキを操作するために、ソケットへハンドル棒を確実に差し込んで下さい。ソケットプランジャーを歯止めで堅くなるまで、選択する位置へ確実に移動させて下さい。下記の取扱説明図のように力を加えながら上昇、下降させるためにハンドル棒をストロークさせて下さい。

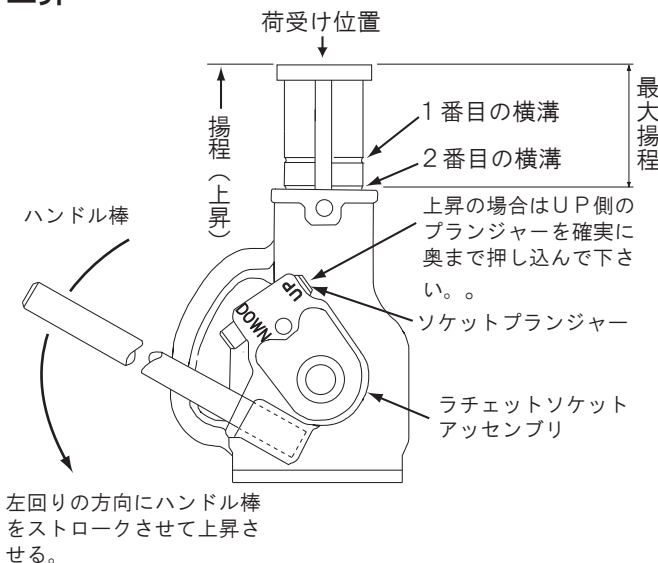
警告 下記図で示された横溝は、ジャッキの最大揚程量に近づいていることをオペレーターに警告する溝です。更に2番目の溝はジャッキの最大揚程量を示し、その溝を超えてジャッキを上昇させることはできません。

警告 安全操作手順と安全注意事項

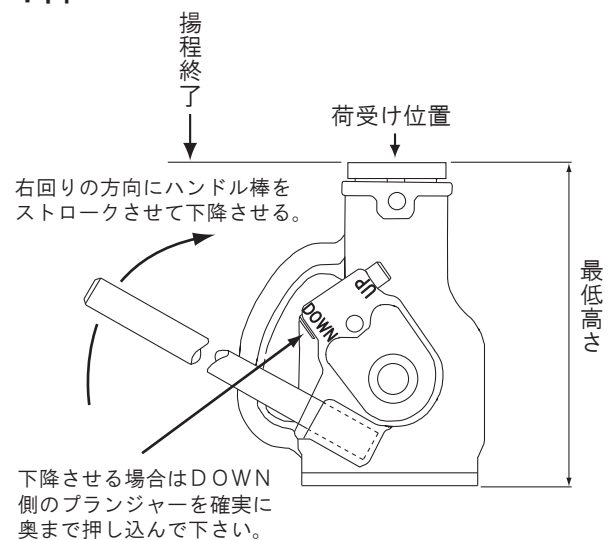
1. ジャッキを使用する前に、具体的な用途でジャッキを安全で、適切に使用できる有資格者に指示を受けて下さい。この記述のとうり検査を受けたジャッキが、一般的で、または特定の使用方法の全てに適していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。
2. 更に、ANSI B30.1 1-2章と1-3章の記述された基準に従って、使用する前に全てのジャッキの損傷や摩耗状態、そして潤滑されているかを資格者が調査して下さい。実際に荷をかける前に、全ての機器が適切に機能し、ジャッキが良好な状態であることを確認するために、ジャッキの全揚程で操作して下さい。決してジャッキの定格能力や揚程以上で使用しないで下さい。破損し、汚れていて、不適切に潤滑され、または誤作動しているジャッキを決して使用しないで下さい。(次頁に続く)

ジャーナルジャッキ 型式A1510C 操作方法（下記図参照）

上昇



下降



⚠警告 (前頁から続く)

検査に合格していないジャッキは、指定サービスショップで修理されるまで作業に使用しないで下さい。

- ジャッキの定格能力以上で決して使用しないで下さい。もし昇降する荷重をあらかじめ計算できなければ、安全のために大きく積載荷重を超える、余裕のある大きな能力を持ったジャッキを使って下さい。ジャッキのハンドル棒の最大操作力以上で使用しないで下さい。(4頁の仕様表参照)
- ジャッキが平行な基礎にしっかりと支えられ、そして的確に位置決めされ、荷に対して垂直になっていることを確認して下さい。必ず安定した土台の上に配置して下さい。ジャッキが滑ったり、荷が移動したりすることの無いように、荷を持ち上げる位置で、的確に支えることができるかを確認して下さい。
- 製品型式で決められたハンドル棒だけを使用して下さい。使用するハンドル棒はジャッキのディケールや、4頁の仕様表で指定された長さを決して超えないで下さい。更にハンドル棒を延長して決して使用しないで下さい。
- ジャッキのハンドル棒を安全に操作できるように、昇降作業を行う近辺で、人員や物が作業の妨げになっていないかを作業者は確認して下さい。
- ラチェットが故障した時に起る、ハンドル棒の突然の回転動作で生じる怪我を防ぐために、作業者の頭や体をハンドル棒の真上から避けて、どちらかの側面へ移動して作業して下さい。
- 荷の昇降作業でジャッキを使用する前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。そして下記の手順に従って下さい。
荷を平行に上げて下さい。そしてジャッキの故障や、ジャッキ不慮の転倒などの場合に起こり得る、荷の移動や落下を防ぐために、荷を安全に受け止めれる物を準備しておいて下さい。ジャッキだけで荷を受け続けしないで下さい。昇降作業が終了したら、直ちに荷を受けれる頑丈な物を設置して、そこで荷を受け止めるようにして下さい。
- ジャッキの昇降作業で、決して人員を荷物と一緒に上げ下げしないで下さい。昇降作業が完全に終わるまで、または安全エンジニアや、権限を有する有資格者によって承認され、検査されたサポートや、OSHA安全基準に従って設置された、適切な荷のサポートで荷が確保されるまでに、人員を荷の上や下に決して立ち入らせないで下さい。
- 仕様表(4頁参照)やディケールに記載された、ジャッキの揚程を決して超えて使用しないで下さい。荷以外の設置物と接触したにもかかわらず、ジャッキの昇降作業を続けるために、ハンドル棒に力を決して加え続けしないで下さい。決してハンドル棒の上に跳んだり、立ち上がったたり、跨らないで下さい。ハンドル棒を決してハンマーで叩いたり、揺すったりしないで下さい。そんな行為は人身障害を引き起こす危険をもたらす、荷の落下の原因となり、またジャッキの駆動部品の損傷と破損を引き起こします。
- ジャッキの昇降作業が終了した後、必ずソケットからハンドル棒を外して下さい。ソケットから突き出て放置されているハンドル棒に偶然ぶつかったりすると、ジャッキの移動や、荷の落下を引き起こ

します。放置されたハンドル棒はジャッキの揚程で生じる危険をもたらします。

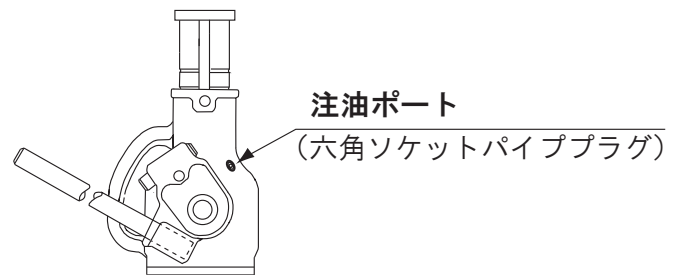
- ジャッキで荷を下げる操作をする前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。尚、前記の(7.)の手順に従って下さい。そして全ての人員と身体の一部が、荷を下げる前に荷から離れる予防処置を取って下さい。

メンテナンスと潤滑方法

- 経験と権限のある有資格者の使用で決定された、前頁(2.)の手順とANSI B30.1 1-2章に従って下さい。
- ジャッキに砂などが付着しないようにして下さい。そして機器を良い状態で維持して下さい。
- 内部に注油するために、注油ポート(下記図参照)からリチウム#1グリスを満たして下さい。グレードの高い20W.01Lでラチェットアッセンブリへ注油して下さい。

リペーパーーツ

#54135(パーツシート)



保証について

- 保証期間**
ご購入日より1年間
- 保証事項**
通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。
- 保証適用除外事項**
 - 製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。
 - 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
 - 過酷な使用による消耗部品の損傷や摩耗による場合。
 - 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
 - 当社製品の故障によって誘発される損害。
 - 自然災害による損害。
- 特記事項**
 - 海外で購入された場合は有償修理になります。
 - カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社が有償修理致します。
 - 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理は受け付けないことがあります。

A1510C (133kN) ジャーナルジャッキ部品表

照合 No.	部品名	部品 No.	数量
1	キャップ	91018	1
2	セットスクリュー	93625	1
3	スクリューギアアッセンブリ	89719	1
4	スリーブ	89720	1
6	リターディングスプリング	87749	1
7	ベース	91099	1
8*	ベアリングゴムプリート	84753	1
9	ベースセットスクリュー	87758	1
10	ベベルピニオン	91116	1
11	リテーニングリング	84741	2
12	ラチェットプランジャースクリュー	91106	1
13	ハウジング (24,25,26,27を含む)	89783	1
14	歯止めプランジャースプリング	91109	1
15	ソケットプランジャー	91107	1
16	歯止めプランジャー	91108	1
17	ラチェット歯止め	91104	1
18	ソケット	91102	1
19	ラチェットウイール	91111	1
20	ソケットカバープレート	91103	1
21	歯止めピン	84746	1
22	コッターピン	93793	1
23	1/8"パイププラグ*	93949	1
24	ブッシング	91129	1
25	キー	91118	1
26	セットスクリュー	93589	1
27	ロックワッシャー	93942	1

* 印は表紙の部品図に表示されていません

仕様表

項目		揚力 kN (ton)	揚程 (mm)	最低高さ (mm)	ベース径 φ (mm)	最大ハンドル 操作力 (N)	ジャッキ 質量 約 (kg)	ハンドル 棒形式 (別売)	ハンドル棒 (φ 25.4×mm)	ハンドル 棒質量 約 (kg)
ジャッキ 型式										
鉄製	A1510C	133(13.3)	127	260	140	600	12.7	10640	φ 25.4×914	3.6

POWERFUL SOLUTIONS. GLOBAL FORCE.

Japan Web サイト

エナパック株式会社

<http://www.enerpac.co.jp>

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区别所町85-7 〒331-0821

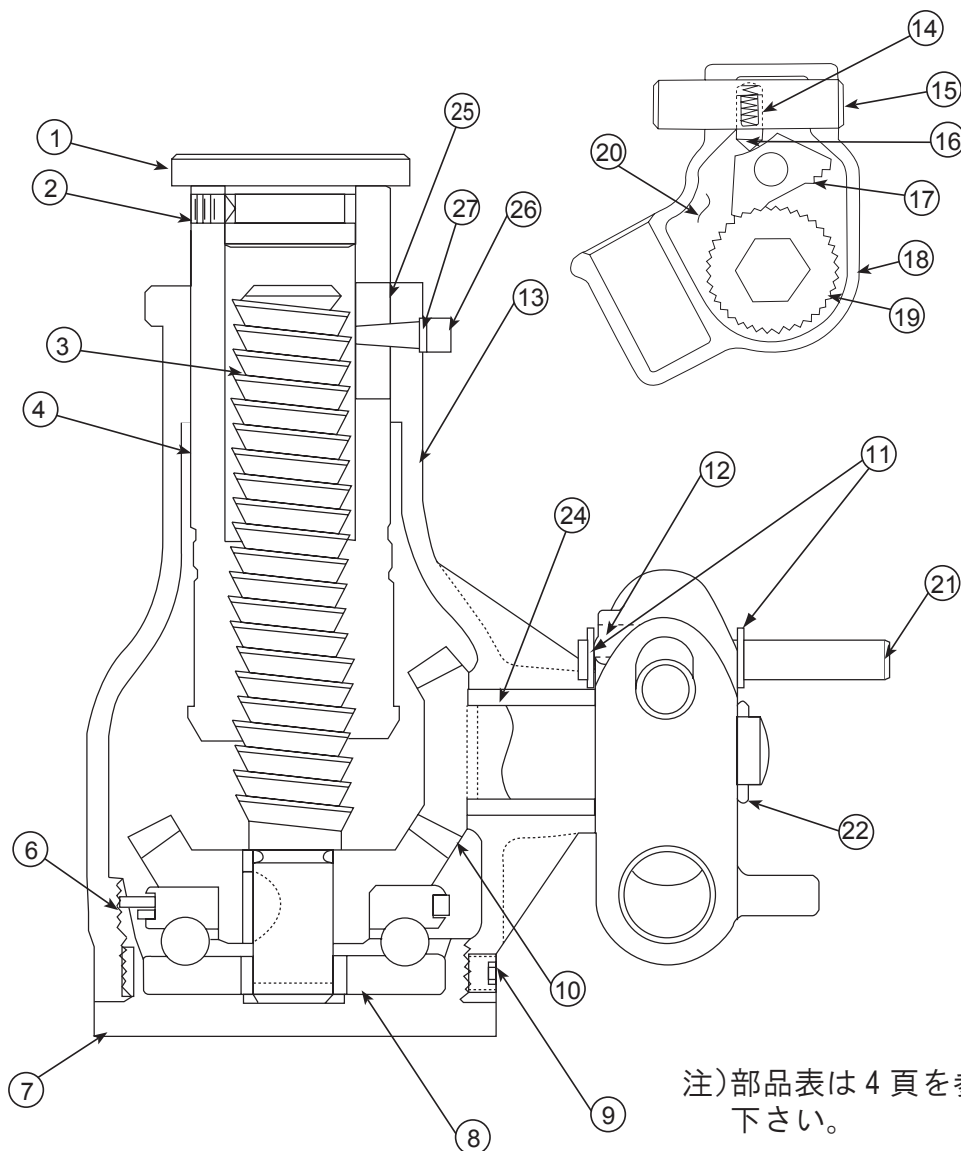
TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955 E-Mailアドレス: info@enerpac.co.jp

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

06/2017

ジャーナルジャッキ 型式 (222kN~311kN)

型式 ●2510C ●A2510C ●A2515C
●3510D ●A3510D



注)部品表は4頁を参照して下さい。



注意

- この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意に関して記載してあります。
- この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、すぐに利用できる場所に大切に保管してください。

重要伝達事項

ご使用の安全のために

1. 本製品は、当社の取扱説明書をよく読み、製品を十分に理解して、危険性を熟知したオペレーターにより運転・操作・保全を行ってください。
2. 本製品を納入稼働後、貴社にて改造・変更を行って、不具合・事故が発生した場合は、弊社のPL補償の対象となりませんのでご了承ください。
3. 本書に記載されている安全注意事項は、身体や機械の損傷レベルにより、次の3レベルに分けて記載してあります。危険度の高い安全注意事項に特に気をつけて作業を行ってください。



危険

当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの。



警告

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に重大な損傷を招く恐れがあるもの。



注意

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に損傷を招く恐れがあるもの。

ジャーナルジャッキの取扱説明とメンテナンス方法

注意 ジャッキを使用する前に、ジャッキの操作手順を読んで、良く理解して下さい。そして全ての安全操作手順と、安全注意事項もまた読んで理解して下さい。更に、一般的な安全原則と、装置の所有者やその他管理者による事故防止方法に従って下さい。

参考文献

1. 産業労働者のジャッキ操作のためのOSHA災害予防マニュアル
2. OSHAジャッキの一般業界標準
3. ANSI B30.1 ジャッキのための安全操作説明書

ジャッキ操作説明書

ジャッキを操作するために、ソケットへハンドル棒を確実に差し込んで下さい。ソケットプランジャーを歯止めで堅くなるまで、選択する位置へ確実に移動させて下さい。下記の取扱説明図のように力を加えながら上昇、下降させるためにハンドル棒をストロークさせて下さい。

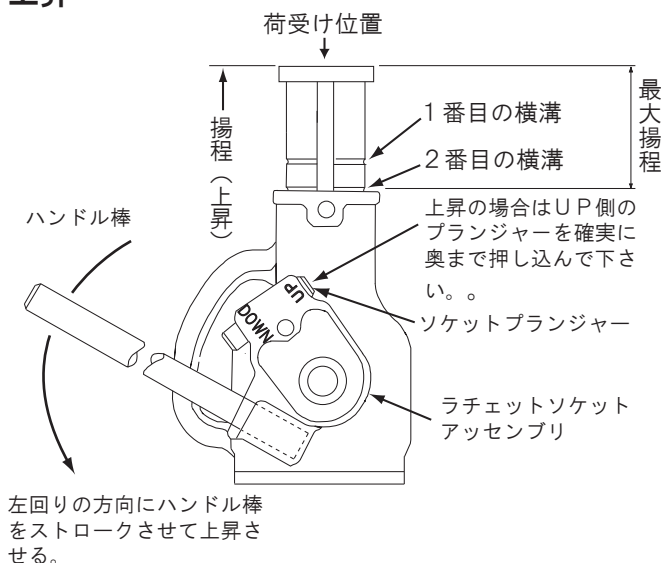
警告 下記図で示された横溝は、ジャッキの最大揚程量に近づいていることをオペレーターに警告する溝です。更に2番目の溝はジャッキの最大揚程量を示し、その溝を超えてジャッキを上昇させることはできません。

警告 安全操作手順と安全注意事項

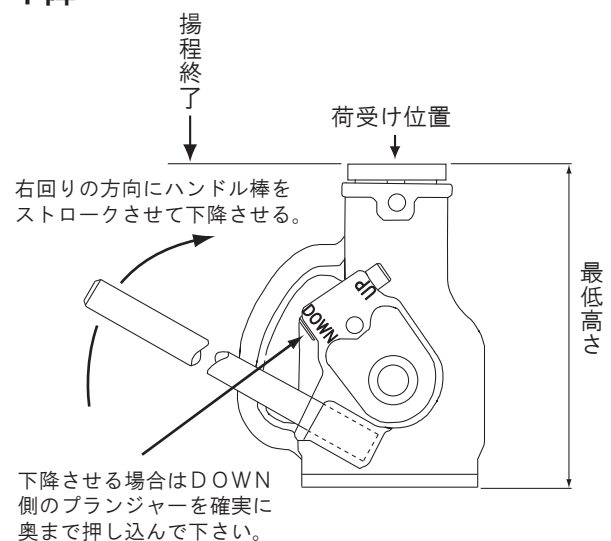
1. ジャッキを使用する前に、具体的な用途でジャッキを安全で、適切に使用できる有資格者に指示を受けて下さい。この記述の通り検査を受けたジャッキが、一般的で、または特定の使用方法の全てに適していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。
2. 更に、ANSI B30.1 1-2章と1-3章の記述された基準に従って、使用する前に全てのジャッキの損傷や摩耗状態、そして潤滑されているかを有資格者が調査して下さい。実際に荷をかける前に、全ての機器が適切に機能し、ジャッキが良好な状態であることを確認するために、ジャッキの全揚程で操作して下さい。決してジャッキの定格能力や揚程以上で使用しないで下さい。破損し、汚れていて、不適切に潤滑され、または誤作動しているジャッキを決して使用しないで下さい。(次頁に続く)

型式 2510C・A2510C・A2515C・3510D・A3510D操作方法（下記図参照）

上昇



下降



⚠警告 (前頁から続く)

検査に合格していないジャッキは、指定サービスショップで修理されるまで作業に使用しないで下さい。

3. ジャッキの定格能力以上で決して使用しないで下さい。もし昇降する荷重をあらかじめ計算できなければ、安全のために大きく積載荷重を超える、余裕のある大きな能力を持ったジャッキを使って下さい。ジャッキのハンドル棒の最大操作力以上で使用しないで下さい。(4頁の仕様表参照)
4. ジャッキが平行な基礎にしっかりと支えられ、そして的確に位置決めされ、荷に対して垂直になっていることを確認して下さい。必ず安定した土台の上に配置して下さい。ジャッキが滑ったり、荷が移動したりすることの無いように、荷を持ち上げる位置で、的確に支えることができるかを確認して下さい。
5. 製品型式で決められたハンドル棒だけを使用して下さい。使用するハンドル棒はジャッキのディケールや、4頁の仕様表で指定された長さを決して超えないで下さい。更にハンドル棒を延長して決して使用しないで下さい。
6. ジャッキのハンドル棒を安全に操作できるように、昇降作業を行う近辺で、人員や物が作業の妨げになっていないかを作業者は確認して下さい。
7. ラチェットが故障した時に起る、ハンドル棒の突然の回転動作で生じる怪我を防ぐために、作業者の頭や体をハンドル棒の真上から避けて、どちらかの側面へ移動して作業して下さい。
8. 荷の昇降作業でジャッキを使用する前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。そして下記の手順に従って下さい。
荷を平行に上げて下さい。そしてジャッキの故障や、ジャッキ不慮の転倒などの場合に起こり得る、荷の移動や落下を防ぐために、荷を安全に受け止めれる物を準備しておいて下さい。ジャッキだけで荷を受け続けしないで下さい。昇降作業が終了したら、直ちに荷を受けれる頑丈な物を設置して、そこで荷を受け止めるようにして下さい。
9. ジャッキの昇降作業で、決して人員を荷物と一緒に上げ下げしないで下さい。昇降作業が完全に終わるまで、または安全エンジニアや、権限を有する有資格者によって承認され、検査されたサポートや、OSHA安全基準に従って設置された、適切な荷のサポートで荷が確保されるまでに、人員を荷の上や下に決して立ち入らせないで下さい。
10. 仕様表(4頁参照)やディケールに記載された、ジャッキの揚程を決して超えて使用しないで下さい。荷以外の設置物と接触したにもかかわらず、ジャッキの昇降作業を続けるために、ハンドル棒に力を決して加え続けしないで下さい。決してハンドル棒の上に跳んだり、立ち上がったたり、跨らないで下さい。ハンドル棒を決してハンマーで叩いたり、揺すったりしないで下さい。そんな行為は人身障害を引き起こす危険をもたらす、荷の落下の原因となり、またジャッキの駆動部品の損傷と破損を引き起こします。
11. ジャッキの昇降作業が終了した後、必ずソケットからハンドル棒を外して下さい。ソケットから突き出て放置されているハンドル棒に偶然ぶつかったりすると、ジャッキの移動や、荷の落下を引き起こ

します。放置されたハンドル棒はジャッキの揚程で生じる危険をもたらします。

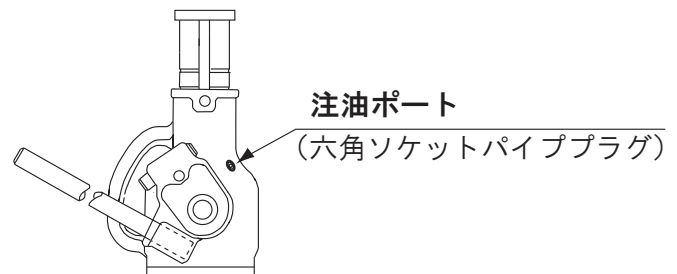
12. ジャッキで荷を下げる操作をする前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。尚、前記の(7.)の手順に従って下さい。そして全ての人員と身体の一部が、荷を下げる前に荷から離れる予防処置を取って下さい。

メンテナンスと潤滑方法

1. 経験と権限のある有資格者の使用で決定された、前頁(2.)の手順とANSI B30.1 1-2章に従って下さい。
2. ジャッキに砂などが付着しないようにして下さい。そして機器を良い状態で維持して下さい。
3. 内部に注油するために、注油ポート(下記図参照)からリチウム#1グリスを満たして下さい。グレードの高い20W.01Lでラチェットアッセンブリへ注油して下さい。

リベアーパーツ

#54080(パーツシート)



保証について

- 1)保証期間
ご購入日より1年間
- 2)保証事項
通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。
- 3)保証適用除外事項
 - 製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。
 - 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
 - 過酷な使用による消耗部品の損傷や摩耗による場合。
 - 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
 - 当社製品の故障によって誘発される損害。
 - 自然災害による損害。
- 4)特記事項
 - 海外で購入された場合は有償修理になります。
 - カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社有償修理致します。
 - 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理は受け付けないことがあります。

222kN・311kNジャーナルジャッキ部品表

照合NO.	部品名	部品番号					数量
		2510C	A2510C	A2515C	3510D	A3510D	
1	キャップ	91114	91114	91114	91114	91114	1
2	セットスクリュー 5/16-18X7/16	93625	93625	93625	93625	93625	1
3	スクリューギヤーアッセン	84671	84671	88638	88638	88638	1
4	スリーブとナットアッセン	86102	88640	88640	88640	88640	1
6	リターディングスプリング	87749	87749	87749	87749	87749	1
7	ベース	91099	91099	91099	91099	91099	1
8	ベアリング W/O リテーナー	84753	84753	84753	84753	84753	1
10	ピニオン	91116	91116	91116	91116	91116	1
12	スクリューラットプランジャー	91106	91106	91106	91106	91106	1
13	ハウジングアッセンブリ	91121	91131	91088	91121	91131	1
14	歯止めプランジャースプリング	91109	91109	91109	91109	91109	1
15	ソケットプランジャー	91107	91107	91107	91107	91107	1
16	歯止めプランジャー	91108	91108	91108	91108	91108	1
17	ラチェット歯止め	91104	91104	91104	91104	91104	1
18	ソケット	91102	91102	91102	91102	91102	1
19	ラチェットウイール	91111	91111	91111	91111	91111	1
20	ソケットカバー	91103	91103	91103	91103	91103	1
21	歯止めピン	84746	84746	84746	84746	84746	1
22	コッターピン	93793	93793	93793	93793	93793	1
NS	ソケットパイププラグ 1/8-27	93949	93949	93949	93949	93949	1
24	ピニオンベアリング	85841	91129	91129	85841	91129	1
25	キー	91118	91118	91118	91118	91118	1
26	セットスクリュー 5/16-18X 3/4LG	93587	93587	93587	93587	93587	1
27	ロックワッシャ	93942	93942	93942	93942	93942	1
NS	コットンピン	93780	93780	93780	93780	93780	1
NS	S.S.S. 1/2-13X5/8	87758	87758	87758	87758	87758	3
NS	スペーサーワッシャー	89717	89717	89717	89717	89717	2

NS = 表示されていません。

仕様表

ジャッキ 項目 型式	揚力 kN (ton)	揚程 (mm)	最低高さ (mm)	ベース径 φ (mm)	最大ハンドル 操作力 (N)	ジャッキ 質量 約 (kg)	ハンドル 棒形式 (別売)	ハンドル棒 (φ25.4×mm)	ハンドル 棒質量 約 (kg)
鉄製	2510C	222(22.2)	127	260	140	667	10640	φ25.4×914	3.6
アルミ製	A2510C	222(22.2)	127	260	140	667			
アルミ製	A2515C	222(22.2)	229	381	140	667			
鉄製	3510D	311(31.1)	127	260	140	778			
アルミ製	A3510D	311(31.1)	127	260	140	778			

POWERFUL SOLUTIONS. GLOBAL FORCE.

Japan Web サイト

エナパック株式会社

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区别所町85-7 〒331-0821

TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955

E-Mailアドレス : info@enerpac.co.jp

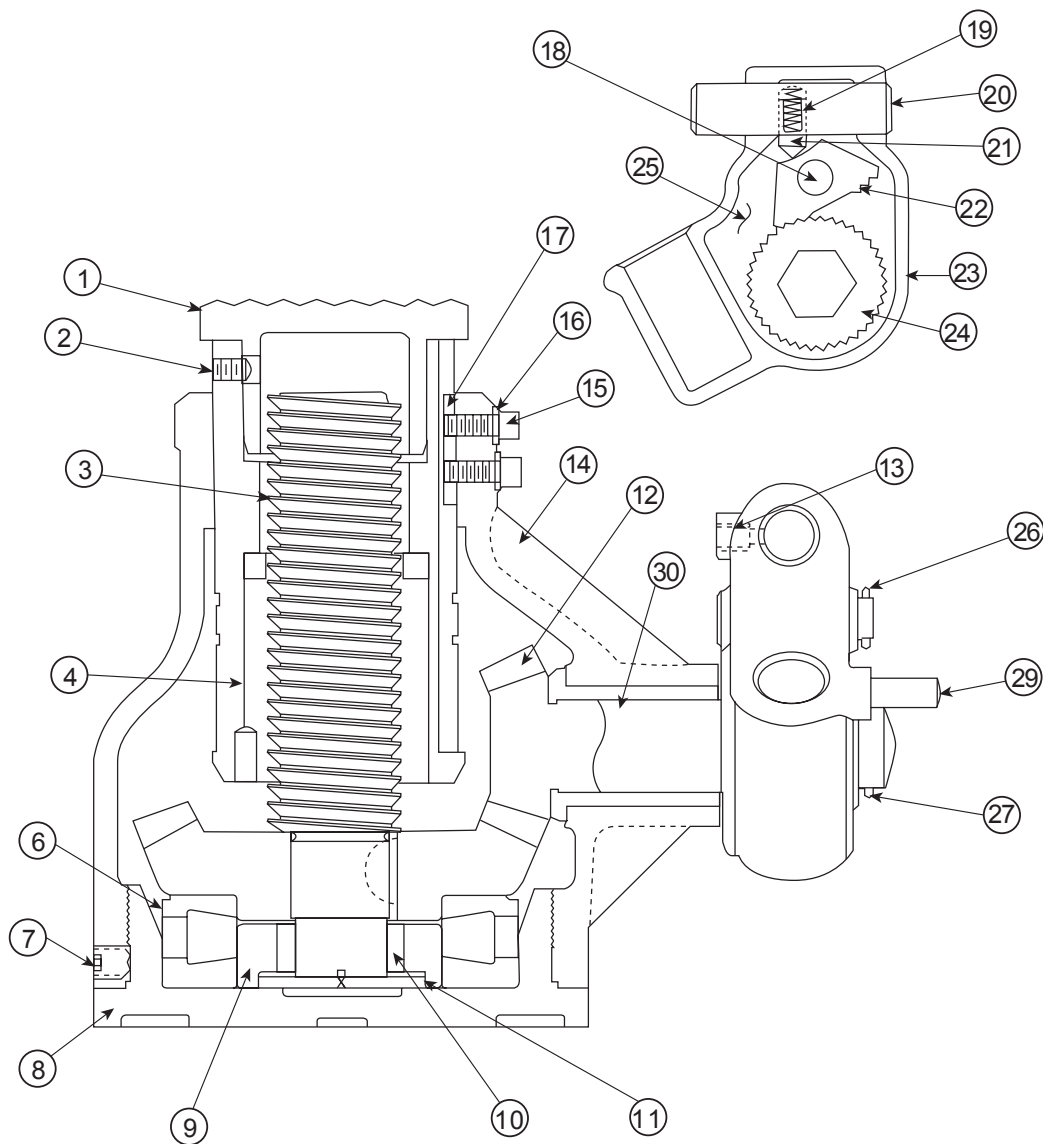
<http://www.enerpac.co.jp>

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

06/2017

ジャーナルジャッキ

型式 5010B・A5010B(445kN)



注意

- この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意に関して記載してあります。
- この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、すぐに利用できる場所に大切に保管してください。

重要伝達事項

ご使用の安全のために

1. 本製品は、当社の取扱説明書をよく読み、製品を十分に理解して、危険性を熟知したオペレーターにより運転・操作・保全を行ってください。
2. 本製品を納入稼働後、貴社にて改造・変更を行って、不具合・事故が発生した場合は、弊社のPL補償の対象となりませんのでご了承ください。
3. 本書に記載されている安全注意事項は、身体や機械の損傷レベルにより、次の3レベルに分けて記載してあります。危険度の高い安全注意事項に特に気をつけて作業を行ってください。



危険

当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの。



警告

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に重大な損傷を招く恐れがあるもの。



注意

当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に損傷を招く恐れがあるもの。

ジャーナルジャッキの取扱説明とメンテナンス方法

注意 ジャッキを使用する前に、ジャッキの操作手順を読んで、良く理解して下さい。そして全ての安全操作手順と、安全注意事項もまた読んで理解して下さい。更に、一般的な安全原則と、装置の所有者やその他管理者による事故防止方法に従って下さい。

参考文献

1. 産業労働者のジャッキ操作のためのOSHA災害予防マニュアル
2. OSHAジャッキの一般業界標準
3. ANSI B30.1 ジャッキのための安全操作説明書

ジャッキ操作説明書

ジャッキを操作するために、ソケットへハンドル棒を確実に差し込んで下さい。ソケットプランジャーを歯止めで堅くなるまで、選択する位置へ確実に移動させて下さい。下記の取扱説明図のように力を加えながら上昇、下降させるためにハンドル棒をストロークさせて下さい。

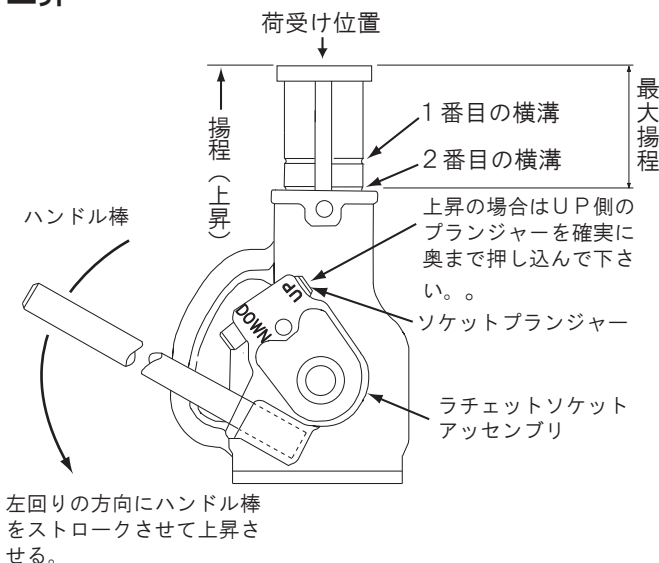
警告 下記図で示された横溝は、ジャッキの最大揚程量に近づいていることをオペレーターに警告する溝です。更に2番目の溝はジャッキの最大揚程量を示し、その溝を超えてジャッキを上昇させることはできません。

警告 安全操作手順と安全注意事項

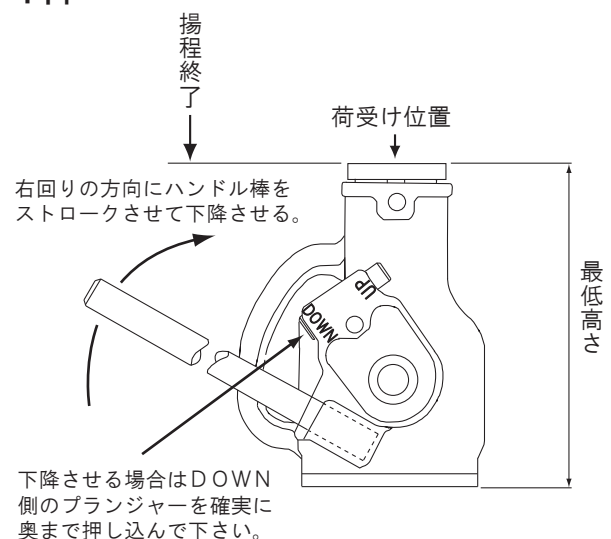
1. ジャッキを使用する前に、具体的な用途でジャッキを安全で、適切に使用できる有資格者に指示を受けて下さい。この記述の通り検査を受けたジャッキが、一般的で、または特定の使用方法の全てに適していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。
2. 更に、ANSI B30.1 1-2章と1-3章の記述された基準に従って、使用する前に全てのジャッキの損傷や摩耗状態、そして潤滑されているかを有資格者が調査して下さい。実際に荷をかける前に、全ての機器が適切に機能し、ジャッキが良好な状態であることを確認するために、ジャッキの全揚程で操作して下さい。決してジャッキの定格能力や揚程以上で使用しないで下さい。破損し、汚れていて、不適切に潤滑され、または誤作動しているジャッキを決して使用しないで下さい。(次頁に続く)

ジャーナルジャッキ 型式5010B・A5010B 操作方法（下記図参照）

上昇



下降



⚠警告 (前頁から続く)

検査に合格していないジャッキは、指定サービスショップで修理されるまで作業に使用しないで下さい。

3. ジャッキの定格能力以上で決して使用しないで下さい。もし昇降する荷重をあらかじめ計算できなければ、安全のために大きく積載荷重を超える、余裕のある大きな能力を持ったジャッキを使って下さい。ジャッキのハンドル棒の最大操作力以上で使用しないで下さい。(4頁の仕様表参照)
4. ジャッキが平行な基礎にしっかりと支えられ、そして的確に位置決めされ、荷に対して垂直になっていることを確認して下さい。必ず安定した土台の上に配置して下さい。ジャッキが滑ったり、荷が移動したりすることの無いように、荷を持ち上げる位置で、的確に支えることができるかを確認して下さい。
5. 製品型式で決められたハンドル棒だけを使用して下さい。使用するハンドル棒はジャッキのディケールや、4頁の仕様表で指定された長さを決して超えないで下さい。更にハンドル棒を延長して決して使用しないで下さい。
6. ジャッキのハンドル棒を安全に操作できるように、昇降作業を行う近辺で、人員や物が作業の妨げになっていないかを作業者は確認して下さい。
7. ラチェットが故障した時に起る、ハンドル棒の突然の回転動作で生じる怪我を防ぐために、作業者の頭や体をハンドル棒の真上から避けて、どちらかの側面へ移動して作業して下さい。
8. 荷の昇降作業でジャッキを使用する前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。そして下記の手順に従って下さい。
荷を平行に上げて下さい。そしてジャッキの故障や、ジャッキ不慮の転倒などの場合に起こり得る、荷の移動や落下を防ぐために、荷を安全に受け止めれる物を準備しておいて下さい。ジャッキだけで荷を受け続けしないで下さい。昇降作業が終了したら、直ちに荷を受けれる頑丈な物を設置して、そこで荷を受け止めるようにして下さい。
9. ジャッキの昇降作業で、決して人員を荷物と一緒に上げ下げしないで下さい。昇降作業が完全に終わるまで、または安全エンジニアや、権限を有する有資格者によって承認され、検査されたサポートや、OSHA安全基準に従って設置された、適切な荷のサポートで荷が確保されるまでに、人員を荷の上や下に決して立ち入らせないで下さい。
10. 仕様表(4頁参照)やディケールに記載された、ジャッキの揚程を決して超えて使用しないで下さい。荷以外の設置物と接触したにもかかわらず、ジャッキの昇降作業を続けるために、ハンドル棒に力を決して加え続けしないで下さい。決してハンドル棒の上に跳んだり、立ち上がったたり、跨らないで下さい。ハンドル棒を決してハンマーで叩いたり、揺すったりしないで下さい。そんな行為は人身障害を引き起こす危険をもたらす、荷の落下の原因となり、またジャッキの駆動部品の損傷と破損を引き起こします。
11. ジャッキの昇降作業が終了した後、必ずソケットからハンドル棒を外して下さい。ソケットから突き出て放置されているハンドル棒に偶然ぶつかったりすると、ジャッキの移動や、荷の落下を引き起こ

します。放置されたハンドル棒はジャッキの揚程で生じる危険をもたらします。

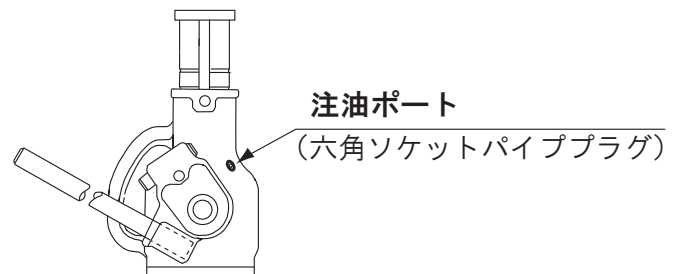
12. ジャッキで荷を下げる操作をする前に、前頁の取扱説明図で操作方法を理解して下さい。尚、前記の(7.)の手順に従って下さい。そして全ての人員と身体の一部が、荷を下げる前に荷から離れる予防処置を取って下さい。

メンテナンスと潤滑方法

1. 経験と権限のある有資格者の使用で決定された、前頁(2.)の手順とANSI B30.1 1-2章に従って下さい。
2. ジャッキに砂などが付着しないようにして下さい。そして機器を良い状態で維持して下さい。
3. 内部に注油するために、注油ポート(下記図参照)からリチウム#1グリスを満たして下さい。グレードの高い20W.01Lでラチェットアッセンブリへ注油して下さい。

リペーパーパーツ

#54137(パーツシート)



保証について

- 1)保証期間
ご購入日より1年間
- 2)保証事項
通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。
- 3)保証適用除外事項
 - 製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。
 - 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
 - 過酷な使用による消耗部品の損傷や摩耗による場合。
 - 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
 - 当社製品の故障によって誘発される損害。
 - 自然災害による損害。
- 4)特記事項
 - 海外で購入された場合は有償修理になります。
 - カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社有償修理致します。
 - 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理は受け付けないことがあります。

445kNジャーナルジャッキ部品表

照合 No.	部品名	部品番号		数量
		5010B	A5010B	
1	キャップ	91184	91184	1
2	セットスクリュー	93626	93626	1
3	スクリューギヤアッセンブリ	85093	85093	1
4	スリーブ・ナットアッセンブリー	86103	86103	1
6	スラストベアリング	91192	91192	2
7	ベースセットスクリュー	87758	87758	2
8	ベース	91215	91215	1
9	ベアリングスペーサー	91194	91194	1
10	ベアリングスペーサーブッシング	91195	91195	1
11	スプリングブレーキ	91173	91173	2
12	ベベルピニオン	91186	91186	1
13	ラチェットプランジャースクリュー	91106	91106	1
14	ハウジング (No.30を含む)	85092	85094	1
15	キャップスクリュー	93590	93590	2
16	ロックワッシャー	93942	93942	1
17	キー	91197	91197	1
18	歯止めピン	91177	91177	1
19	歯止めプランジャースプリング	91109	91109	1
20	ソケットプランジャー	91178	91178	1
21	歯止めプランジャー	91179	91179	1
22	ラチェット歯止め	91176	91176	1
23	ソケット	91174	91174	1
24	ラチェットウイール	91181	91181	1
25	ソケットカバープレート	91175	91175	1
26	3/23×1 コッターピン	93778	93778	1
27	3/16×1 1/2 コッターピン	93787	93787	1
28	パイププラグ*	93949	93949	1
29	ドライブロックピン	93813	93813	1
30	ブッシング	91187	91187	1

*印は表紙の部品図に表示されていません。

仕様表

ジャッキ	項目 型式	揚力 kN (ton)	揚程 (mm)	最低高さ (mm)	ベース径 φ (mm)	最大ハンドル 操作力 (N)	ジャッキ 質量 約 (kg)	ハンドル 棒形式 (別売)	ハンドル棒 (φ25.4×mm)	ハンドル 棒質量 約 (kg)
鉄製	5010B	445(44.5)	102	262	184	889	36.3			
アルミ製	A5010B	445(44.5)	102	262	184	889	27.7	10675	φ25.4×1422	7.3

POWERFUL SOLUTIONS. GLOBAL FORCE.

Japan Web サイト

エナパック株式会社

<http://www.enerpac.co.jp>

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区别所町85-7 〒331-0821

TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955 E-Mailアドレス: info@enerpac.co.jp

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。